

転倒災害防止のための見える化事例集

～青梅署STOP！転倒災害プロジェクト～

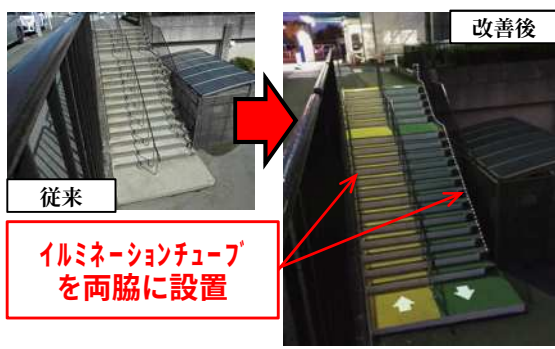
青梅 労働基準監督署では、「転倒災害防止」及び「安全の見える化」の一層の推進を図るため、「青梅署STOP！転倒災害プロジェクト」として取り組みを進めています。

安全の見える化 とは、職場に潜む危険を目に見える形にすることによって安全活動をより効果的に行う取組です。

このリーフレットは、当署管内の企業から寄せられた転倒災害防止の見える化の事例を集めたものとなっています。

本事例を参考とし、皆さまの職場でも転倒災害防止に係る安全の見える化を推進しましょう！

Ⅰ. 階段での転倒災害を防止するための見える化①

タイトル	階段での墜落・転倒災害防止対策 (手掛かり部分の増設による見える化)	タイトル	階段での踏み外し転倒災害防止対策 (手すり増設、昇降方向見える化、及び夜間照明設置)
R1 事例	 金網フェンスが近く、手すりを持ってない	H30★ 事例	 改善後 従来 イルミネーションチューブを両脇に設置
ポイント	階段の手すり干渉する位置に金網フェンスがあり、昇降時手すりを持っていないため、手掛かりを新たに設け、持ちやすく且つ目立つように改善した。	ポイント	階段中央の手すり増設、昇降方向の印と色分塗装で識別・見える化。夜間の常夜灯取付で足元を明るくし、転倒災害軽減

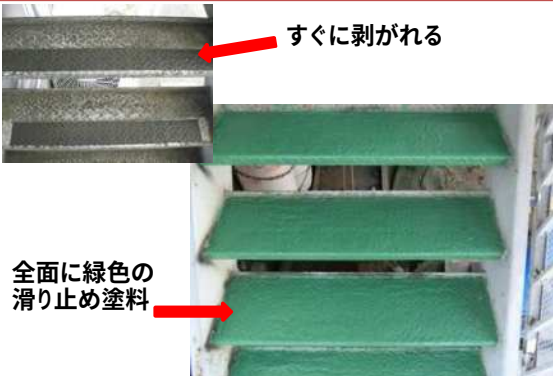
タイトル	手すり増設・蓄光テープで停電時対策	タイトル	階段昇降時の注意力向上
H30★ 事例		H29★ 事例	
ポイント	両側に手摺設置、手摺と階段に蓄光テープ、下り(赤色)と上り(黄色)の矢印表示、段数の表示「転落注意」の表示、人感センサーで照明を点灯	ポイント	階段に壁を貼り外部情報をシャットアウト！（階段に集中）階段の角度がわかるようにJIS安全色彩に従い青色のラインを引いた



I. 階段での転倒災害を防止するための見える化②

タイトル	階段でのルールに見える化
H29 事例	
ポイント	「転ぶと危険！ポケットハンド」「歩きスマホは危険です！」など階段でのルールの表示

タイトル	階段での踏み外し転倒災害防止
H29 事例	従来の階段  ①中央部手すり設置 ②矢印表示 ③色塗り表示
ポイント	①中央部に手すり設置、②昇降方向の矢印表示 ③色塗りによる昇降方向識別 一方通行の流れができ、ぶつかることも無くなった

タイトル	シマ鋼板 階段での滑り止め塗装
H29 事例	 すぐに剥がれる 全面に緑色の滑り止め塗料
ポイント	滑り止めテープから滑り止め塗装へ。油や水が付いていても滑りにくい。剥がれない。耐久性もあり、錆防止にもなる

タイトル	音声で注意喚起
H28 事例	
ポイント	人が通ると「手摺を持ちましょう」という音声が出る

タイトル	階段の躓き防止対策
H28 事例	
ポイント	「階段昇降時には手摺を使用のこと」の表示

厚生労働省 「STOP！転倒災害プロジェクト」



Ⅰ. 階段での転倒災害を防止するための見える化③

タイトル	階段での踏み外し防止対策
H28 事例	
ポイント	降りる階段側の最後の段に③，②，①と残りの段数を表示し、意識付けを行った

タイトル	階段昇降時転倒防止対策
H28 事例	
ポイント	手摺を設置し、いざという時に手摺をつかめるようにした

タイトル	外階段の滑り止め対策
H27 事例	
ポイント	コンクリート上に、すべり止め用ビニール製シートを貼った（コンクリートだと雨の日は滑りやすく、滑り止めは躓きやすいため）

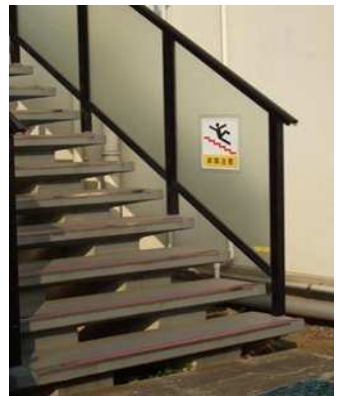
タイトル	階段昇降時転倒災害防止対策
H27 事例	
ポイント	昇り、下りを明確にした。また、手すりを増やすことにより、いざという時に、手すりをつかめるようにした

STOP! 転倒災害プロジェクト 中災防 特設サイト



中災防 転倒災害防止

検索

タイトル	階段昇降時の注意表示
H27 事例	
ポイント	表示板を目の高さに貼った

I. 階段での転倒災害を防止するための見える化④

タイトル	明示による啓蒙活動
H27 事例	
ポイント	全ての階段に「階段昇降時の転倒防止7ヶ条」を掲示

タイトル	階段の見える化
H27 事例	
ポイント	「階段両側に手摺り取付け」、「歩行区分」、手摺り使用の表示を行い転倒防止！

タイトル	階段昇降時の注意表示
H27 事例	
ポイント	階段及び段差をペイントした（コンクリートだと足を上げる距離感が分かりづらいため）

タイトル	下り階段の安全確保
H27 事例	
ポイント	左側通行としていた階段の歩行帯を直線手擦りのある壁側に変更し、歩行帯指示ステッカーを蓄光式に変更した

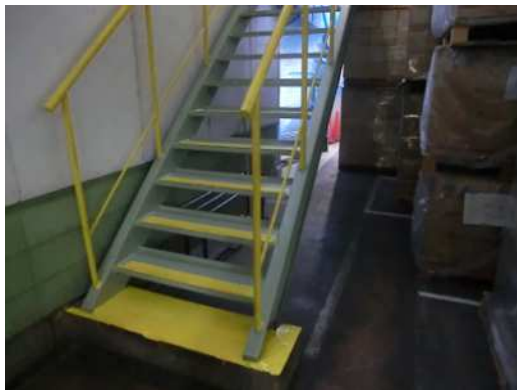
タイトル	階段への啓蒙表示
H27 事例	
ポイント	「ボケ・手・な・し」活動の展開による転倒災害防止

タイトル	労働安全衛生総合研究所 対策編① 滑りにくい床にしましょう
H27 事例	
ポイント	

I. 階段での転倒災害を防止するための見える化⑤

タイトル	階段の通行の表示
H27 事例	
ポイント	「昇降時には手すりを使用しましょう」の表示

タイトル	階段の通行の表示
H27 事例	
ポイント	衝突防止、落下防止の表示

タイトル	階段歩行時の躓き・落下防止
H27 事例	
ポイント	段差を黄色く枠どりし、一番下の段差を黄色く目立つようにした



独立行政法人労働者健康安全機構
労働安全衛生総合研究所
National Institute of Occupational Safety and Health, Japan

導入編 滑りにくい作業環境を作しましょう



1:58 / 1:58 YouTube

労働安全衛生総合研究所 労働安全衛生総合研究所



労働安全衛生総合研究所 労働安全衛生総合研究所

II. 段差での転倒災害を防止するための見える化①

タイトル	つまづきによる転倒災害防止
R1★ 事例	改善前  改善後  カバーによる 段差と配線 配線を床面から天井側に変更
ポイント	歩行路上の配線カバーによる段差をなくして床面をフラットにすることで転倒災害が起きるリスクを低減した

タイトル	着色による段差の明示
H30 事例	 
ポイント	段差部分が床と同系色で視認しづらいため、段差部分を黄色くペイントして注意喚起を行った

タイトル	出入口段差における転倒防止
H30 事例	←改善前  改善後→ 
ポイント	出入口段差において、転倒する恐れがあった為、手すりを設置し、転倒防止を図った

タイトル	部屋入口段差における躓きの防止
H30 事例	←改善前  改善後→ 
ポイント	部屋入口において、段差があり躓いて転倒する恐れがあった為、踏み台を設置し、黄色に塗色して目立つようにした

タイトル	転倒災害防止用架台の設置
H30 事例	←before  After→ 
ポイント	通り抜けの際に、配線へ足を引っかけて転倒するリスクがあるため、架台を設置し転倒防止を図った



厚生労働省

職場のあんぜんサイト

労働災害統計 災害事例 リスクアセスメント 実施支援システム 安全衛生キーワード 化学物質

ホーム > 教材・資料 > 転倒・腰痛防止用視聴覚教材

転倒・腰痛防止用視聴覚教材

転倒や腰痛は、第三次産業でも日常的に起こり得る災害です。働く皆様が日常的に転倒や腰痛災害の防止を心がけられるよう、災害事例、防止対策をまとめております。職場での安全衛生教育などにお役立てください。



～飲食店、小売業向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～
(8分56秒)



～社会福祉施設向け転倒・腰痛防止用視聴覚教材～
(8分56秒)

II. 段差での転倒災害を防止するための見える化②

タイトル	更衣室バリアフリー化
H29★ 事例	
ポイント	出入口の段差を無くし転倒防止

タイトル	扉の段差による転倒災害防止策
H29 事例	
ポイント	イラスト付き注意喚起（滑り止め付き）

タイトル	段差転倒災害防止策
H29 事例	
ポイント	作業エリア内段差をスロープ化、黄色く塗り明確化

タイトル	段差転倒災害防止策
H29 事例	
ポイント	作業エリア内段差をスロープ化、黄色く塗り明確化

転倒・腰痛防止用
視聴覚教材
転倒・腰痛防止用視覚

転倒・腰痛防止用
視聴覚教材
転倒・腰痛防止用視覚



転倒・腰痛防止用

タイトル	更衣室のバリアフリー化
H29★ 事例	 BEFORE  AFTER
ポイント	スノコをカーペットに変更し段差の解消。着替えスペース拡大

II. 段差での転倒災害を防止するための見える化③

タイトル	段差と車両通行用スロープの隙間
H29 事例	
ポイント	車両通行用スロープに段差が有り、固定されていない為、スロープが動いてしまい隙間ができていたものを固定して段差も解消

タイトル	段差スロープ側面の転倒防止対策
H29 事例	
ポイント	出入口において、段差スロープの側面に空間があり、足を引っ掛けてしまうおそれがあるため空間を埋めた

タイトル	作業場床面凹みによる躓き防止
H29 事例	
ポイント	床面に凹みがついていた為、歩行エリア全面にカバーを設置し躓き防止を図った

タイトル	段差転倒災害防止策
H29 事例	
ポイント	イラスト付き表示、安全通路色分け、コーン設置の見える化

タイトル	スロープ見える化
H28 事例	
ポイント	段差をスロープ化し、滑り止めを貼り、真ん中を黄色く塗り見える化



II. 段差での転倒災害を防止するための見える化④

タイトル	出入口の柵の設置
H27 事例	
ポイント	扉から出る側に手摺設置（段差が高いため、踏いたとき手摺がない）

タイトル	明示による啓蒙活動
H27 事例	
ポイント	階段部の段差を明示した

タイトル	明示による啓蒙活動
H27 事例	
ポイント	食堂入口部の段差を明示した

タイトル	ハード対策による転倒防止
H27 事例	
ポイント	工場内の出入口ドアの段差を改修し、段差をなくした（床材の変更）

フレッツ陸上貨運
陸上貨物運送事業
労働災害防止協
転倒災害防止リー



タイトル	人が通る段差にペイント表示
H27 事例	
ポイント	歩行中は足元が分かりづらいため、明るく目立つ色でペイントした

II. 段差での転倒災害を防止するための見える化⑤

タイトル	人が通る段差にペイント表示
H27 事例	
ポイント	歩行中は足元が分かりづらいため、明るく目立つ色でペイントした

タイトル	出入り口の柵の設置
H27 事例	
ポイント	段差を利用して踊り場を付けた（段差が高いため、躓いたとき手摺がない）

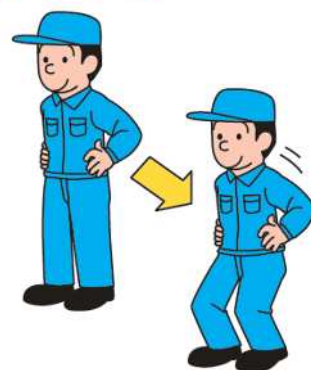
タイトル	明示による啓蒙活動
H27 事例	
ポイント	段差箇所を明示した

転ばない体をつくるために…

日ごろから**筋力アップ**に努めましょう。

例：スクワット

足を肩幅ぐらいに開きます。手を腰に当てて、膝の角度が45～60度程度になるように曲げます。これを10回×2セットを目安に行いましょう。



中央労働災害防止協会
 転倒災害防止
 活動促進
 活動促進

中央労働災害防止協会

 JISHA 中災防



III. 踏台、歩み板での転倒災害を防止するための見える化①

タイトル	踏み台の滑りによる転倒防止
H30 事例	 ←改善前  改善後→
ポイント	踏み台が鉄板で滑る恐れがあった為、縁を黄色くぬっていたが、滑り止めテープを貼り、転倒防止を図った

タイトル	踏み台昇降時における注意喚起
H30 事例	 おつかまりください
ポイント	踏み台昇降時における転倒防止の為、「おつかまりください」シールを手すりに貼り付け注意喚起を行った

タイトル	踏み台置き場の改善による転倒防止
H30 事例	 ←改善前  改善後→
ポイント	通路に踏み台の置き場があったが、歩行時に躓いて転倒する恐れがあった為、折りたたんで吊り下げる事が出来るようにした

タイトル	踏み台における転落防止対策
H29★ 事例	 転落防止ブザー (踏むと音が鳴る)
ポイント	踏み台上でバランスを崩して転落するおそれがある為、注意を促すブザーを取り付けた

転倒災害防止のためのチェックシート あなたの職場の危険をチェックしてみましょう！	
☐ 1 通路、階段、出口に物を放置していませんか	→ 通路、階段、出口などの歩行する場所には、物を放置しないようにしましょう。
☐ 2 床の水たまりや氷、油、粉類は、その都度取り除いていますか	→ 床面が水、氷、油、粉類等で汚れている場合には、すぐに取り除きましょう。
☐ 3 安全に移動できるように、十分な明るさ(照度)が確保されていますか	→ 移動中に物につまずかないよう、適切な明るさ(照度)を確保しましょう。
☐ 4 転倒を予防するための教育を行っていますか	→ 転倒予防のための教育、研修を実施しましょう。
☐ 5 作業靴は作業に適したものを選び、定期的に点検していますか	→ 作業に適した靴を選んで着用し、靴底の磨り減りがないかなど、定期的に点検をするようにしましょう。
☐ 6 ヒヤリ・ハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	→ 職場の危険マップを作成し、危険情報を共有しましょう。
☐ 7 段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促すステッカー(標識)をつけていますか	→ 転倒の危険性がある場所にはステッカー(標識)をつけて、注意喚起をしましょう。
☐ 8 ポケットに手を入れたまま歩いていますか	→ ポケットに手を入れて歩かないようにしましょう。階段は手すりを使って昇降しましょう。
☐ 9 転倒災害防止のための運動を取り入れていますか	→ ストレッチや体操などを適宜行って、転倒災害予防に努めましょう。また、日ごろの歩き方も見直してみましょう。

タイトル	見える化による躓き防止対策
H28 事例	
ポイント	作業エリアの作業台、踏み台が判りづらいので、台の角を黄色く塗りわかりやすくした

III. 踏台、歩み板での転倒災害を防止するための見える化②

タイトル	踏み台の新設
H27 事例	
ポイント	狭い作業エリアを5Sで改善し、手すり及び階段付きの踏み台にした

タイトル	変電所の点検時転倒防止
H27 事例	
ポイント	歩行帯にすべり止めとトラテープによる明示

タイトル	手すりの設置
H27 事例	
ポイント	2方向から登れるようになっていた踏み台を1方向にし、手すりを取り付けた

木材・林業・木材製造業労働災害協会
QRコード
転倒災害防止リーフレット



緊急対策継続中!!



林材業転倒災害

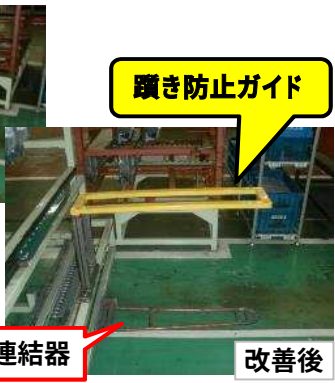
STOP!

転倒といえども転落等の重篤災害に繋がる!

IV. その他の転倒災害を防止するための見える化①

タイトル	滑りやすい床面での転倒防止対策
R1 事例	 ブーツ(黒)  静電靴  耐滑安全長靴を採用 足甲が鉄板入り為安全性も良く、滑りにくい
ポイント	塗装による作業面の滑りやすさ軽減のため、耐滑性能の良い靴底の安全靴に変更した

タイトル	台車の連結部による躓き転倒防止対策
R1 事例	改善前  連結部 足元で気が付きにくい 改善後  ガードを付け目立つ様に着色した
ポイント	連結させて使用する台車の連結金具に足が引っ掛からないようガードを設けた

タイトル	台車牽引の為の連結器による躓き防止対策
R1 事例	改善前  連結器 連結器が足元にあり気が付きにくく、躓く恐れがあった。 改善後  躓き防止ガイド
ポイント	連結させて使用する台車の足元に、気づきにくく長い連結器があるため、目に入る高さにガイドを設け、気が付きやすいように見える化した

タイトル	歩行者用グリーンバル路路面の滑止対策
H30★ 事例	改善前  改善後 
ポイント	歩行者用の路面上に緑色のペンキを塗るも、滑りやすかったことから、珪砂（けいしゃ）を用いて路面の耐滑性と視認性を向上させた

木材製造業



●木片につまずいて転倒

林業



●急斜面で体のバランスを失い転倒し斜面を転落

転倒災害事例

●伐倒終了後、退避場所に移動したとき足を滑らせて斜面を転落し胸を強打

●コンベヤーの上を歩いて転倒

タイトル	鉄製手すりへのクッションカバー取付
H30 事例	冷たくて、指紋跡もあり、握るのをためらう   クッション性のあるパイプカバーを取り付け
ポイント	金属性の為、手すりを持つと指紋の跡がのこり、また、冬季は冷たく、静電気も発生していたが、改善後は解消され、手すりを持つようになった

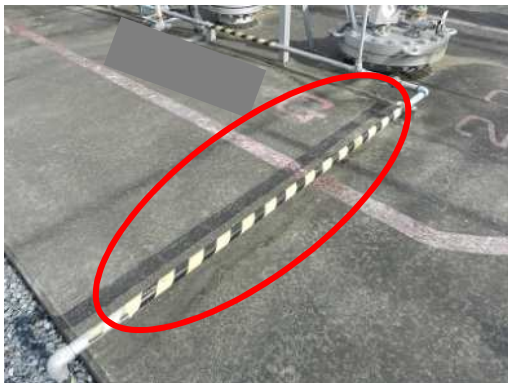
IV. その他の転倒災害を防止するための見える化②

タイトル	雨水グレーチングの跳ね上がり防止
H29 事例	
ポイント	跳ね上がり防止用ボルトで固定し、転倒防止を図った

タイトル	作業場歩行時の椅子による転倒防止
H29 事例	 
ポイント	作業台を改修し、椅子を収納できるように改善した

タイトル	渡り通路の踏み外し対策
H28 事例	
ポイント	渡り通路に踏み外し防止柵を取り付けた

タイトル	見える化による躓き防止対策
H28 事例	
ポイント	作業エリアの床の配管が目視で判りづらいので明るい色でペイントした

タイトル	作業場所配管見える化
H29 事例	
ポイント	トラテープによる見える化



IV. その他の転倒災害を防止するための見える化③

タイトル	玄関のすのこに滑り止め対策
H27 事例	
ポイント	何処に足を乗せても滑り止めに足が掛かるようにした（プラスチック製のすのこは靴下で上ると滑り易い）

タイトル	通勤・退勤時の歩行区分の明確化
H27 事例	
ポイント	緑色でアスファルトや縁石と識別

タイトル	明示による啓蒙活動
H27 事例	
ポイント	「職場を走らない」の明示

タイトル	歩行時の衝突や躓きを防ぐ対策
H27 事例	
ポイント	段差部の明確化



STOP 転倒

検索

タイトル	歩行時の衝突や躓きを防ぐ対策
H27 事例	
ポイント	コーナー部の明確化

事例のご協力をいただいた事業場

株式会社IHI 航空・宇宙・防衛事業領域 瑞穂工場
 株式会社IHIジェットサービス 瑞穂事業所
 株式会社ジェイテクト 東京工場
 住友金属鉱山株式会社 青梅事業所
 太平洋マテリアル株式会社
 東芝デジタルメディアエンジニアリング株式会社 本社事業所
 トキオ精工株式会社
 トヨタ紡織株式会社 東京工場
 日本フィルター工業株式会社 羽村工場
 日立アプライアンス株式会社 青梅事業所
 日野自動車株式会社 羽村工場
 株式会社ホリコー

(敬称略、五十音順)

青梅署STOP!転倒災害プロジェクト 推進中 ▶▶▶

別 添

「転倒災害防止の見える化事例」

事業場名	
業 種	
事例の概要 タイトル (特徴・着眼点等)	
事例(写真)	 この応募フォームや過去の事例はここから ダウンロードできます
公表の許諾	事業場名 許 ・ 否 事例内容 許 ・ 否

御担当者様あて確認させていただくことがありますので下記項目の記入をお願いいたします。

御担当者名	
部署名	
連絡先	電話 FAX

「問い合わせ先」

青梅労働基準監督署 安全衛生課
 TEL 0428-28-0331

(公社)東基連 青梅労働基準協会支部
 TEL 0428-24-8917

「提出先」 電子メール(青梅労働基準協会支部) umekikyo@t-net.ne.jp

青梅労働基準監督署管内における「転倒災害防止」及び「安全の見える化」の一層の推進及び事業場の労使の安全気運の向上を図るため、「青梅署STOP!転倒災害プロジェクト」の取組の一貫として、転倒災害に係る見える化事例を募集し、公表しています。

詳しくは、青梅労働基準監督署のホームページに掲載しています

青梅労基署 お知らせ

検索

STOP! 転倒災害
プロジェクト



東京労働局

16

青梅労働基準監督署 (R1.12)

